



ハワイ州  
教育省

ハワイの公立学校を対象とした FERPA に基づく権利の通知  
改定 2022 年 8 月

毎年、ハワイ州教育省 (HIDOE) は、HIDOE 管轄内の学校における生徒の教育記録のプライバシーに関連する特定の権利について、親および適格な生徒 (18 歳以上の生徒) に通知する必要があります。本情報を提供する取り組みにおいて、HIDOE は生徒の情報のプライバシーに関連する州および連邦の規制を再度確認し、本権利通知を作成しました。

いくつかのケースにおいては、米国教育省のウェブページ ([studentprivacy.ed.gov](http://studentprivacy.ed.gov)) または HIDOE の生徒プライバシーウェブページで、より詳細な情報を入手できる場合があります。インターネットにアクセスできない場合、所属する学校が要求に応じてインターネットリンクで入手可能な情報のコピーを提供します。

**家族教育の権利とプライバシー法 (FERPA) とは何か？**

家族教育の権利とプライバシー法 (FERPA) は、HIDOE が保持する生徒の教育記録のプライバシーを保護する連邦法 (20 U.S.C.A. § 1232g) および規制です。さらに、ハワイ行政規則第 8-34 章 (HAR § 8-34) は、教育の権利とプライバシーの保護が連邦法に従っていることを保証するための要件を規定しています。学校、複合エリアのオフィス、支店、および HIDOE 州オフィスは、生徒の情報を紙の形式 (累積学習、特殊教育、および英語学習者のファイルなど) および電子形式 (縦断的データシステム、生徒情報システムなど) で保管します。生徒情報を含む教育記録には、登録書類、成績表、成績証明書、懲戒書、個人を特定できる情報 (PII) が含まれる場合があります。PII には、関連する状況に関して個人的な知識を持たない学校コミュニティ内の合理的な人物が妥当な確実度で生徒を特定できるようにする、特定の生徒に関連づけられている、または関連付けが可能な情報が単独または組み合わせて含まれます。

**生徒の情報を保護する責任は誰にありますか？**

HIDOE のすべての従業員およびボランティアは、意図的または偶然に生徒の情報を取り扱う可能性があります。したがって、私たちの学校と HIDOE オフィスの全員が生徒の情報を保護する責任があります。

(このページの残りの部分は意図的に空白にしています)

## 親と適格な生徒に与えられる権利

FERPA は、生徒の教育記録に関して、親と適格な生徒に一定の権利を付与しています。それらの権利は以下の通りです。

1. 学校管理者がアクセス要求を受け取ってから 45 日以内に、生徒の教育記録を調べて確認する権利。

親と適格な生徒の教育記録または開示記録の閲覧を希望する保護者または適格な生徒は、閲覧を希望する記録を特定する、書面による要求を学校管理者に提出する必要があります。学校管理者は、同アクセスの手配を行い、保護者または適格な生徒に、記録を閲覧できる時間と場所を知らせます。

2. 親または適格な生徒が不正確、誤解を招く、または FERPA に基づく生徒プライバシー権を侵害していると考えられる学生の教育記録の修正を要求する権利。

学校に生徒に関連する記録または彼らの教育記録の修正を依頼したい親または適格な生徒は、校長に手紙を書き、変更したい記録の部分を明確に特定して、変更する理由を明記する必要があります。学校が親または適格な生徒の要求に応じて記録を修正しないと決定した場合、学校側は親または適格な生徒にその決定と、修正要求に関する審問を受ける権利を通知します。審問手続きに関する追加情報は、審問の権利が通知された際に、親または適格な生徒に提供されます。

3. 学校が生徒の教育記録から PII を開示する前に、書面による同意を提供できる権利(ただし、FERPA が同意なしに開示を許可する場合を除く)。

FERPA は、その開示が FERPA 規則 § 99.31 に記載されている特定の条件を満たしている場合、親または適格な生徒の同意なしに、生徒の教育記録に記載されている PII の開示を許可しています。学校関係者への開示、一部の司法命令または合法的に発行された召喚状に関連する開示、生徒情報の開示、および親または適格な生徒への開示を除き、FERPA 規則 § 99.32 では、学校が開示を記録することを要求しています。親と適格な生徒は、開示の記録を調べて確認する権利を有します。学校は、親と適格な生徒の事前の書面による同意を得ることなく、生徒の教育記録に記載されている PII を以下の人物/機関に対して、以下の目的で、および以下の条件で開示することができます。

- ・ 学校が正当な教育的利益を有すると判断した HIDEOE 内の教師を含むその他の学校関係者— 学校関係者には、管理者、スーパーバイザー、インストラクター、またはサポートスタッフメンバー (保健/医療スタッフおよび法執行機関の職員を含む)として学校または学区に雇用されている人物、または教育委員会の一員の人物が含まれる場合があります。さらに、同関係者には、請負業者、コンサルタント、ボランティア、または学校が組織のサービスまたは機能を外部委託した、あるいは学校が本来であれば職員に任せる組織のサービスまたは機能を実行し、教育記録の PII の使用および維持に関して学校の直接管理下にあるその他の当事者が含まれます。上記の当事者には、弁護士、監

査人、医療コンサルタント、セラピスト、教育リスク評価チーム(または類似チーム)、懲戒委員会や苦情処理委員会などの公式委員会の一員として奉仕活動を行う保護者または学生、他の学校関係者の職務遂行を支援するボランティア、または高等教育機関の学校関係者への要求に応じて、大学の募集と入学において学生を支援する(奨学金および/または財政援助の機会の授与および/または採用の促進を含む)ボランティアが含まれる場合があります。ただし、§ 99.31(a)(1)(i)(B)(1) - (a)(1)(i)(B)(3)に記載されている条件が満たされていることを条件とします。(§ § 99.31(a)(1)(i)(A)および 99.31(a)(1)(i)(B)) 学校関係者が職務上の責任を果たすために教育記録を確認する必要がある場合、通常、正当な教育上の利益があります。

- ・ § 99.34 の要件に従い、生徒が入学を希望している、入学する意向がある、あるいは開示が生徒の入学または転校に関連する目的である場合は、学生がすでに入学している、別の学校、学校制度、または高等教育機関の職員 (§ 99.31(a)(2))
- ・ 米国会計検査院長官、米国司法長官、米国教育長官、または州および地方の教育当局(親や適格な生徒学生が居住する州の州教育機関など)の権限を与えられた代表者一本条項に基づく開示は、連邦または州が支援する教育プログラムの監査または評価に関連して、あるいはそれらのプログラムに関連する連邦の法的要件の施行または遵守のために、§ 99.35 の要件の対象となる可能性があります。これらの機関は、該当する要件が満たされている場合、監査、評価、施行、またはコンプライアンス活動を代理で行う、権限を与えられた代表者として同機関に指定された外部機関に PII をさらに開示する場合があります。(§ § 99.31(a)(3) and 99.35)
- ・ 生徒が申請した、または受け取った財政援助に関連して、同援助の適格性を判断する、金額を決定する、条件を決定する、または条件を施行するなどの目的で情報が必要な場合。(§ 99.31(a)(4))
- ・ § 99.38 に従い、少年司法制度および記録が公開された生徒に対して裁定前に効果的に奉仕する同制度の能力に関する州法により、情報の報告または開示が明確に許可されている州および地方の役人または当局。(§ 99.31(a)(5))
- ・ 以下の目的で、学校のために、または学校に代わって研究を実施している組織。(a) 予測テストを開発、検証、または管理するため、(b) 学生支援プログラムを管理するため、または (c) 該当する要件が満たされている場合は、指導を改善するため。(§ 99.31(a)(6))
- ・ 認定機能を実行する認定機関。(§ 99.31(a)(7))
- ・ 生徒が IRS の税目的の扶養家族である場合、適格な生徒の親。(§ 99.31(a)(8))
- ・ 該当する要件が満たされている場合、司法命令または合法的に発行された召喚状に従うため。(§ 99.31(a)(9))

- ・ § 99.36 に従い、健康または安全上の緊急事態に関連して適切な関係者。( § 99.31(a)(10))
  - ・ § 99.37 に基いて該当する要件が満たされている場合、学校が「生徒情報」として指定した情報。( § 99.31(a)(11))
  - ・ 州または地方の学生福祉機関または部族組織が、州法または部族法に従って、里親制度において生徒の世話と保護に対して法的責任を負う場合、生徒のケースプランにアクセスする権限を与えられている、同機関または組織の代理ケースワーカーまたはその他の代表者。(20 U.S.C. § 1232g(b)(1)(L))
  - ・ 特定の条件の下で、リチャード B.ラッセル国立学校給食法または 1966 年の児童栄養法に基づき認可されたプログラムの監視、評価、およびパフォーマンス測定を行う目的で、農務省長官または食品栄養局の承認された代表者。(20 U.S.C. § 1232g(b)(1)(K))
4. HIDEOE が FERPA の要件を遵守していないという申し立てに関して、米国教育省に苦情を申し立てる権利— FERPA を管理する事務局の名前と住所は次のとおりです。

生徒プライバシーポリシー事務局  
 米国教育省  
 400 Maryland Avenue, SW  
 Washington, DC 20202

場合によっては、義理の親が実の親と生徒と日常的に一緒に過ごし、もう一方の実の親がその家にはいない場合、その義理の親は FERPA の下で「親」と見なされる場合があります。適格な生徒は、書面による同意を学校に提出することにより、他者に自分自身の教育記録を閲覧する権限を与えることができ、それによって、上記の人物に許可を与えることができます。逆に、日常的に生徒の家にはいない義理の親に関しては、生徒の教育記録に関して FERPA に基づく権利を有することはできません。親の不在時に行動する家族のメンバーまたはその他の世話人も、FERPA の下では「親」と見なされる場合があります。

親または適格な生徒は、学校に書面による同意を提出することにより、その生徒記録または教育記録を閲覧する権限を他者に与えることができ、それによって上記の人物に許可を与えることができます。書面による同意では、1) 開示される可能性のある記録を指定する、2) 開示の目的を述べる、3) 開示対象の個人または当事者を特定する必要があります。生徒と同居している個人が、ハワイ改正法第 302A-482 条に従い、「保護者同意宣誓供述書」を学校に提出した場合、同個人は同生徒の教育記録を保護者として閲覧する権利を有することになります。

(このページの残りの部分は意図的に空白にしています)

## 生徒情報

FERPA は、HIDOE に、特定の例外を除き、生徒記録または教育記録から個人を特定できる情報を開示する前に、貴方の同意を得ることを要求しています。しかし、HIDOE は、貴方が同省の手順に従い、反対の通知をしないうり、事前の書面による同意なしに、適切に指定された「生徒情報」を開示する場合があります。生徒情報の主な目的は、HIDOE が貴方の生徒の記録または教育記録に記載される情報を特定の学校の出版物に含めることを可能にすることです。

生徒情報(一般的には有害とは見なされず、公開されてもプライバシーの侵害には当たらない)は、親または適格な生徒の書面による事前同意なしに外部組織に開示される場合があります。外部組織には、卒業記念指輪やを製造または販売する企業、卒業記念アルバムを作成する企業、評価またはカリキュラムを提供するオンライン教育ベンダー、および大学への入学を奨励すること、奨学金の授与および/または募集、および/または財政援助の機会を促進することを限定として目的とした高等教育機関が含まれますが、これらに限定されません。学校が生徒に名札を付けることを要求する場合、生徒情報は学校 ID バッジに記載されます。

さらに、2つの連邦法により、HIDOE(1965年初等中等教育法(ESEA)の改訂版に基づいて支援を受けている)は、要求に応じて、中生徒徒の名前、住所、電話番号リスト情報を軍の採用担当者に提供する必要があります。ただし、親または適格な生徒が、事前の書面による同意なしに同情報を開示することを望まないことをHIDOEに通知した場合を除きます。

HIDOE は生徒情報として次の情報を指定しています(HAR § 8-34-3)。

- 住所、
- 電話番号、
- 生年月日と出生地、
- 出席日(入学・退学日)、
- 学年(クラス)レベル、
- 公認活動およびスポーツへの参加、
- 運動チームメンバーの体重と身長、
- 優等学位と修了証明書(卒業証書など)を含む受賞歴、
- 以前に所属した教育機関、機関、または学校、および
- 卒業日

親または適格な生徒は、HIDOE が事前の同意なしに生徒の教育記録から生徒情報として指定された情報を開示することを望まない場合、その旨を示す、読みやすく、日付を記入され、署名がされた要求を学校に提出する必要があります。オプトアウト要求は、学校年度中いつでも受理され、学校で受領した日から有効となります(以前の開示を含む資料が再版されない限り、以前の開示は残ることになります)。親または適格な生徒がオプトアウト要求を提出しない場合、生徒の情報は、法律、規制、またはポリシーが当該開示を許可する範囲で、同意なしに開示される場合があります。

(このページの残りの部分は意図的に空白にしています)

親または適格な生徒は、オプトアウトを選択した場合、事前の書面による同意なしに、大学、将来の雇用主、卒業記念指輪または写真を提供する企業、およびその他の組織または個人への開示が防止されることに注意する必要があります。生徒の情報は、卒業記念アルバム、学校新聞、卒業式プログラム、スポーツ活動記録、優等生名簿などには掲載されません。

「生徒情報の通知」は、HIDOE の生徒プライバシーウェブページで確認できます。

### **生徒の権利保護に関する修正案 (PPRA) とは何か?**

PPRA は、小学校および中学校の生徒の親に、調査の実施、マーケティング目的での情報の収集と使用、および特定の身体検査に関する一定の権利を付与します。これらには、以下の権利が含まれますが、これらに限定されません。

•調査が米国教育省 (ED) のプログラムによって全体的または部分的に資金提供されている場合において、生徒が以下の保護領域の 1 つまたは複数に関する調査 (「保護された情報の調査」) に提出を要求される前に同意する権利 -

1. 生徒または生徒の親の政党所属または政治理念、
2. 生徒または生徒の家族の精神的または心理的な問題、
3. 性行動または性的態度、
4. 違法行為、反社会的行為、自責行為、または品位を傷つける行為、
5. 回答者が親密な家族関係を持っている他者に対する批判的評価、
6. 弁護士、医師、大臣など、法的に認められた特権関係、
7. 生徒または生徒の親の宗教的慣行、所属、または信念、または
8. 所得(プログラムの適格性を判断するために法律で義務付けられている場合を除く)。

•以下から生徒をオプトアウトできるという通知並びにオプトアウトの選択をする機会を受ける権利-

1. 資金提供に関係なく、その他の保護された情報に関する調査、
2. 聴力、視力、側弯症のスクリーニング、または州法で許可または義務付けられている身体検査またはスクリーニングを除き、出席の条件として必要であり、学校またはその代理人によって実施され、生徒の当面の健康と安全を保護するために必要ではない、緊急性がなく侵襲的な身体検査またはスクリーニング、および
3. マーケティングまたは他者への情報の販売/配布を目的とした、生徒から収集した個人情報情報の収集、開示、または使用を伴う活動。(これは、生徒または教育機関のために/に対して、教育向け製品またはサービスを開発、評価、または提供することのみを目的として、生徒から収集された個人情報情報の収集、開示、または使用には適用されません。)

•要求に応じて、実施または使用前に以下を調査する権利 -

1. 第三者によって作成された生徒の保護された情報の調査、
2. 上記のマーケティング、販売、またはその他の配布目的で生徒から個人情報を収集するために使用される手段、および
3. 教育カリキュラムの一部として使用される教材。

これらの権利は、生徒が 18 歳になった際、またはハワイ州法に基づいて独立した未成年者として認められる際に、親から生徒に譲渡されます。

HIDOE は、親と協議し、これらの権利、並びに保護された情報の調査の管理、およびマーケティング、販売、またはその他の配布を目的とした個人情報の収集、開示、または使用における生徒のプライバシーを保護するための取り決めに関して、ポリシーを作成および採択しました。 HIDOE は、少なくとも年に一度、各学年の開始時、および実質的な変更後に、これらのポリシーを親に直接通知することになっています。 また、HIDOE は、以下に記載される特定の活動または調査に参加する予定の生徒の親に対して、米国の郵便やEメールなどを通じて直接通知し、親が特定の活動または調査への参加から生徒をオプトアウトする機会を提供します。 HIDOE がその時点において活動または調査の特定またはおおよその日付を特定した場合、学校年度開始時に親に本通知を行います。 学校年度開始後に予定されている調査および活動に関しては、親に、以下に記載されている計画済みの活動および調査について合理的な通知が提供され、当該活動および調査から生徒をオプトアウトする選択肢が提供されます。 親には、全ての関連調査を確認する機会も提供されます。

以下は、本直接通知要件の対象となる特定の活動と調査の一覧です。

- マーケティング、販売、またはその他の配布を目的とした個人情報の収集、開示、または使用、
- 米国教育省が全体的または部分的に資金を提供していない保護された情報の調査の実施、および
- 上記のような緊急ではなく、侵襲的な身体検査またはスクリーニング。

「生徒の権利保護に関する修正案(PPRA) に基づく権利の通知」は、HIDOE の生徒のプライバシーウェブページ で閲覧することが可能です。 PPRA に基づき、自分たちの権利が侵害されていると考える場合、親は以下に苦情を申し立てることができます。

生徒プライバシーポリシー事務局      Eメール：PPRA@ED.gov  
米国教育省  
400 Maryland Avenue, SW      電話番号：(202) 260-3887  
Washington, D.C. 20202

### リクルーターの情報要求

HIDOE は、「全ての生徒が成功する法」(ESSA) の義務に従い、地方の軍部間リクルートメントカウンシルの要請に応じて、中学生の名前、住所、および電話番号リスト(リストにない番号を含む)を提供します。 軍の募集は高校の3.4年生に重点を置いています。 法律では、グレード7から12までの「中等教育」の対象となる生徒から同情報を収集することが許可されています。 中学生または適格な生徒の親が、HIDOE が要求された情報をリクルーターに提供することを望まない場合、親または適格な生徒は「オプトアウト」する必要があります。 親または適格な生徒は、書面により、リクルーターへの生徒情報の公開を制限する要求を行う必要があります。 学校は、親または適格な生徒からの署名と日付の入った手紙を受け入れます。あるいは、学校は、記入および署名された HIDOE の「オプトアウト」を受け入れます。 フォーマット済みの「オプトアウト」フォームは、学校または HIDOE の生徒プライバシーウェブページで入手することができます。

(このページの残りの部分は意図的に空白にしています)

### 高等教育機関: 生徒情報の要求

ESSA は、HIDOE に対し、高等教育機関 (IHL) の要求に応じて、グレード 11 と 12 の中学生の名前、住所、電話番号を提供することを要求しています。さらに、HIDOE は グレード 11 と 12 の生徒の名前、住所、電話番号を共有し、奨学金および/または財政援助の機会の授与および/または募集を促進する場合があります。生徒または適格な生徒の親が、HIDOE が要求された情報を IHL に提供することを望まない場合、親または適格な生徒は「オプトアウト」する必要があります。親または適格な生徒は、書面により、IHL への生徒の情報の公開を制限する要求を作成して学校に提出する必要があります。学校は、親または適格な生徒からの署名と日付の入った手紙を受け入れます。あるいは、学校は、HIDOE が提供する記入され、署名がされた「オプトアウト」を受け入れます。フォーマット済みの「オプトアウト」フォームは、要求に応じて学校でまたは HIDOE の生徒プライバシーウェブページで入手することができます。

### 苦情または問い合わせ

質問がある、または自分の権利が侵害されていると感じている親または適格な生徒は、次の連絡先に連絡することができます。

#### HIDOE:

郵送：データガバナンスと分析部門  
教育省  
P.O.Box 23804  
Honolulu, HI 96804

E メール： FERPA@k12.hi.us

電話番号： (808) 784-6050

米国教育省  
郵送：生徒プライバシーポリシー事務局  
米国教育省  
400 メリーランドアベニュー、SW  
ワシントン D.C. 20202

E メール： FEPR@ED.gov

電話番号： (202) 260-3887

(このページの残りの部分は意図的に空白にしています)